

人権教育通信【WAD】⑤号

～We Are Different～

文責：宮野

日向中学校では今年度から月に一度、「情報モラル教育」の時間が始まりました。帰りの会前に文部科学省が作成した動画「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」を視聴し、その感想をタブレットで入力して提出するというものです。今回は「軽はずみな SNS への投稿」という動画を視聴しました。以下、生徒の感想を一部ご紹介します。ご家庭でも今回の学習内容についてや、情報端末の利用について、改めて話題にしていただけますと有難いです。

生徒の感想 抜粋

- 動画を見て、実際に不衛生な行動の様子がインターネットに投稿されて問題になったことを思い出し、「ネットに投稿するものは玄関にはれるものだけ」という決まりを守ることの大切さを改めて感じた。
- 私は習ったように玄関に張れるものの言葉しかしていません。これからは、インターネットの特性（公開性、記録性）を考えながらまずは自分からインターネットの使い方を改めないといけないなと思いました。不適切な内容ではないかをしっかりと考えていきたいです。
- 私は今回の動画を見て、一つの写真や動画で大変なことになるんだなと思いました。また、このような非常識な行いは決してしてはいけないと思いました。
- 自分はインターネットを利用するが、身バレなど怖いので自分の情報は上げないようにしています。今はしないけど、大人になったら自分の情報をインターネットに上げることがあるかもしれないその時はモラルを考えた投稿をするようにします。そして、そもそも社会や法に不適切な言動は絶対にしないようにします。
- 私も、知らず知らずのうちに個人情報を公開しているかもしれない、これから SNS 上に何かを投稿するときは何度も見直そうと思います。
- たかが写真一枚や動画一枚で人生を変えられるのはとても嫌だなと思ったからこれからもインターネットの使い方に気を付けたい。
- 写真を投稿するとき何も考えずに投稿しているのでこれからは大丈夫な写真かどうか考えて使っていきたいです。
- 今まで、そのときの「思い出」として撮った写真を友達に共有していたけど、その写真にはたくさんの個人情報が含まれているということを再認識できた。これからも共有していい写真か、ダメな写真かどうかを考えて行動していきたい。
- 自分も SNS を使うことが多いので写真などを投稿する際にはほかの知らない人に送られても問題にならないようなことを投稿しようと思います。また、友達の投稿していたものを簡単にいろんな人にシェアをしたりするのをやめたいです。
- 私はインスタなどでいろんな写真をストーリーに挙げていますが、少しでも不適切なものを載せるとすぐに広まってしまうんだなと思いました。日常的に気を付けていきたいです。
- ちょっとした行動（悪ふざけや悪口）等をインターネットに一度でも公開してしまうと、将来困ったり、自分だけでなく家族やお店の人等、周りの人たちにたくさんの迷惑をかけてしまうことを知ることができました。
- SNS 上にあげたら二度と消すことはできなくて、自分以外の人にも迷惑がかかるということはすごく怖いです。
- ちょっとした悪ふざけがこんなに大きな問題になるのはとてもびっくりしました。
- 一度投稿してしまった画像は誰かに保存されたりコピーされたりしたら消すことができないので、投稿するがあったら、どうなるか考えてからアップしたいです。

たくさんの生徒が「自分事」として考え、感想を書いてくれていました！インターネットは確かに便利なものです。

しかし、「そんなつもりじゃなかった」では済まされない問題が、世界各地で起きていることを知っておきましょう。

人権啓発推進委員（通称：WAD=We Are Different）の募集を行いました！

今年度、日向中学校は『みやざきの「子どものいのちと人権』を守る推進事業』において、人権教育推進指定校となりました。

そこで本校では、「人権啓発推進委員」を募集したところ、「20名」の生徒が申し込んでくれました！

ありがとうございます！！

人権啓発のための標語コンクールや、人権ポスターの作成、そして放送による呼びかけ等、これから様々な取組を子どもたちと一緒にやっていきたいと思います！！

